萬

曆

疏

鈔

夏桂 進 王 張 蕭 湯 志 忠 根 差 是 根 差 完 棟 彦 尹 敬 敬 敢 瑣

日级 四儿里四儿里 心 若 乞 !

天長

Z 魚魚 开君 J 鮮 **德意** 親 T 不 恐後 免 何萬 公者豈 吏 们 治 爄

ラシュ 詞夫 が軽 無情 部

所 仍無緩刑之道固如是歲也以刑為尚而導民使訟也以以此暴其能而曰吾之由 川獄 之程限一个 **西如是哉若夫卷**, **一直也王政省刑罰**。 獲

世 4 狄 が意 感 整 民馬 此 廣德 . . 節 獨怙終梗 金 亦晚矣 而莫知所措 節重 朝令 解 . 國 可 乎哉其中 简 攺 ,a , 月月 情縱 與實侵 親

成之 必皆管徵者 1 後即 糧其或未完有各戶施 日逃亡無從追憐 追如故令包 八誰控 胎補 者若此 一盤者不逐 無措者 訴罪 納者 即有欽 類 不可悉數 依 一詳審 期限 者

一清查未幾而別院之 罪成招連坐 己夏 小勝不 南目 他 上擊斯苦 何辜 八臂之 承委 **宁被累至** A 繁貴事權 即繼拘追 諄 Þ

塞詞訟嚴濫受之 司之 j 烅 **亦諭故** 撫字為尚而不多以 円 广實侵 意奉行惟速 開釋者 撫按衙門轉行 月昧陳之 勿拘於成案 即問罪嚴併 如果是 ·禁聽問開和息之 而事不 當原情源 〈積紙贖為能 有司 尚 言可採 瑜時實意求情 官員質推德意 於避 /嫌勿曲徇 門 劝該部裁議 將 老 盤 少職者以 小如查 官員果 用情 納 無 酌 虚 别

1

疏业 、足及 五.

可豐 聖王 1 とうぞう 民素也 世所 即詩書的 ì 垭 段灰疏 聖 恒之 心 董 、長治之廢 K 而能使 中 四 ル馬 正 代氏 端 竊惟 由 動 P 念

之交 其子草根 灭 豐飲 Á 河道 為動心撫絞之 常盗賊之 調麥又告病矣問閩之 目流離載道 / : 其荒稻甚 剝取殆盡甚則什 其是 之警報 人競技 時間那縣之消 夫不能有其妻父 臣 聞之道路云即 2 蕭條 が利利 E 7 **拜無策**終 能

則其病民盖亦 試聽 詞 P. 莭 し正詩粗 **范**錐宜 為即 /理民 陳 皇 而

ブル 及 杜則守候 一呉兩准 而誤准 繳 可 重追 即 事 ū

Ĺ 一直接设工 公官

が

災

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が 議 **雌宜之** 介荒之 輕重 罪 烈景 外或 請下 取盈

J 5 貝 頼 和盖 E ゴブ

ا P 可竟 、民之 毛養 銀鍊 哲 乏 其罪笞 册 þfi ٠ پر 十九 箝

爲過 六餘成 撫字 部酌議通 E 亦挽吏 1 古來 急呼京解錢根有火 **ル**之 分為兩途然 炎而結民 行撫按官嚴 相左也今錢粮 心之 加訪究 原度之 事也 衙

處 K 7 **加頂盖錢** 其他 MAN CARLES A 「排之 納牌秧 隨地 也 費用監可さ 便 民之事當有 少則 ケイ 一節河 路費幾倍之 • 順天等 **擤節**即 E 東等 大誠 祁

崩 在 年 他 又苦無米 司能酌 冬取 <u>(</u>) 價平矣源 F 前 南北江 不而當事 或 之政不盡于販而 淮安 提 出典三 倉所積之 人证以是 事苟利民 此 請行 者議發注安倉粮 山東河南等處饑荒 ン 穀錐 民無 知縣濟之策所 **脊撫坡** 脈其光 鉅 þ 繩 P 緩 臣 於 甚 两

事事、省約以膽其養 リと 訪察所 此庶民国 耳惟 火 二訪察 外更為多方 皇上 **年性根莠不** 7 **舒而**民心固矣夫 根券 えしまし 號人 間畏避 令問也 第能實意為民工 随赤禾 鋤則嘉 小價可平 院訪 挺 民當其窮餓之 時時勞來以慰其心 醪 元造冊奏 挾 則平之富民有 殖按 . 顏 宣在其 不患事無長策 巴他 聞 部類 多哉

至 J 初 買 訪 藪 Z Á 至可得 十餘人 則奚為哉 輕 無他其被訪 則不 則其勢 權納 F ~-. · 結約馬 納斯假手報 えり 不玩失訪不足 不不 為與其多而 東等處有等積猾 雨會言 辛 不避 復肆馬無 吏 以示警而適 不能皆實則 也 E 風 莫 無寧火 雨 巨奸 **敢誰何** 也 忌其地 重 足 賣

心地不為惜而事涉影嚮過未深重但 **小三**人 悉置不問即誤在訪中亦聽辩豁 懲其過惡之重如前賣訪買訪單即置 以民意 為不可或彼府有而此府無亦 海內通獎不獨 公好忽窜水 一种多苟得其 东其 ____ 一地方 澗 體

لر A 求美利欽 便民之實故間有 多嬌质及不 人製錢必以銅 北伏讀竊歎大哉 **行諸臣率不能體** 称不便者 言鑄. 銅 銅 豈法誠 額 川貴産 價 p 垣 (日貴其道 亩 正也路有 P 便

餘 K J き オノジ 1 川司 八青 云南據實具奏 體 而師 國者 月 取 則 户 即往 里 <u>.</u> 無

頭動 外民類 哭

THE PERSON NAMED IN 八片人 閣傳奉 那宣 十四 一體憂樂 、無常懷於 進段 中中 〈氣昏

向 声 羉 泛經 間民 貴 臨論 皇上气 無能出 都 六
所
者
致 匱 生 L 一計以 一日窮流 一問民疾苦 雜遷徙誠 理第能實 則間 加 闇

允 火 **吟** 運是無鐲之 「威登 _ 1 > 11_13 **多册**可加 ロー・こ 二 傷謂 所 可减 非直 **销錢糧** 虚 Ŀ

正在 則何 指實惠故然有 然这惠而於 化作而 以故所蠲者多屬奸民而 エラオ (動經歲, 八) 追奉 K 元使愚 頂 杰 倘 其 力之路災撫 夫愚婦明 八總計銀 雅泉民植 則後 **4請損** 两 或 納 ? 收 易 渦 囱 **E**II 庶 两

公費之 口節省碩省所可省者斯 、必為民利而滴 鞭一 盈縮也 事其 見更 而且均民情 皇 具害七 **正為民利省其所** 如此 愈 於 無庸枚聚為 <u>-</u> <u>-</u> <u>-</u> <u>-</u> 7

頂 近我能仰體 た 光為節省之心不可無而節省之名不可有之獨任則稱累被為之民者方之然所以為此事亦此用而昔以深人供之今以之後亦此事亦此用而昔以深人供之今以 1 心則必能簡約 而民以衆 一野加派 F 力供之 矣是 則易舉

= 更 小裁減則不 無實用 害事馬之 + ぎせ > 何也)紛更 行其所 区 察逐 H 其獎等 不言其 谷害民

K 志 减 红 E 二,决 約束 ; 論叫 請 類未 7 月 謂

化火 77 mm (mad) 無能出 少關烏特塞至理此三者

九蠲 脈 食 ķ 蓄 國非其國今天 巴重 年之人 細琪宴 德 个足無六年之蓄日急無 內外畜藏了 萬 食九年 儲

亡死 一跼蹐積 Ė 貯無窓常自無悔及災 忍 沙 先事預防さ 聞 不譚積聚 有貴贱 訓 民 深 育起 此 臣 郡 į

貝 -1 J 迫 至 抵積貯之

顶 地方可容藏耐久者扣多寡為積聚等差其所 有錢糧通融 罗月 有浥爛稍令出陳易 園活 アグ 耿 扣糶三年之 壽昌請雜 支 **贅**謂 〈給各隨 斗則式務令較量 如 盖常 穀餘 地相

東不責償今羅本暫借原非棄捐况販之後時雖費 哲云朝爪宜及膚割髮宜及體苟可利民髮膚何愛 語云朝爪宜及膚割髮宜及體苟可利民髮膚何愛 在而不朴保亦尚勸借而取息平耀則受糶而無追 戴議得無多事乎不知預備一販而不還平羅則常 尹錐災

事多兵甲時與儲時糧餉 令清實數 甚矣若香 前令行 盤 而無栗則莫與守也 侵 矣然 漁不 節 因噎 請 召問中塩 許科 自今常平倉勿 此自內地言之也 而廢食 罰翻 為民病 寒轉運 錐 則

於遭旱魃銀四五兩始買栗一石於是有米珠之一一一一行糧不繼乃發帑金十萬羅買又無所得銀四錢二分自以八倍之利後至七錢五分又以一葉淇變為折銀之例維時栗一石值銀二錢毎引 罗马莫 耿壽昌常平初制业商墾田納粟之 八聚春康 弘治來 制只令邊之例不能

經度貿易軍糧今宜畧放其意預發九邊年例銀 目多積預储及至支放之時查照豐內兼支本折雜車十萬一年糧餉扣用一百二十萬 用夷屬不能為之图水旱不能為之災豈一石而有三石之餘雜之百年則六石而 公真宗內出銀三十五

卼 鈥 1 民真 於两於 高萬 大角

里 ٠ E 7 贈 3 馮 鲁 計 月小秀 只頁 備 1 無 þ 能 風 þ 地 月 市 惻

プラ音文

商 備 湟 <u>-</u> THE PARTY OF THE P 学 室良 7. 散散 世 F 心顧い Ł 包 曆 自 4 F 也深江 礦 馬勞 惠政 討 可 能

無 Ŧ 吏 則 F ? ま 重 弱

門炊之 即有他 僅餘殘喘予之 而糠粃皆活 ス 其

搶奪之罪罪之 世 **水聽其**願 ~報舉得 凹 有里胥之 口好假勸借盖勸借之 負之 路者放釋 徒 一庶青澤不 人指稱前三 來有司之官不 **循以為非** 刻者散之 比較過于催征 無胳 至下屯而雨露 名國家 者開陳一 體民情責 原 相

掠取其菽 横其暴民之 為若此者 末 盖垂盡之 月 此者可禁也六日母 門掛槎 貝 便軟樂萬狀大搶竊平 具夫孽子相呼為奉入 刑也而 階而 室盖

邇 不能災矣邑有五百人之 有可之官偏 市其田土 不相順有無不得 貧者膝催科急 富室聽斷不論是非而富者 富則歲歲一 、都邑 價或托 則責之代 名而早者 人之 幸石 可無饑 補 富

天美美 說則實惠可坐 下· 理也

た 火 心也房外 Ties . L. 7 (1041) 門 k 北河 ·
固或 調劑

 $\hat{\mathbb{I}}_{\mathbb{I}}$ s: 間 馬 色 提 恐 一靈消干 春發育 然 狀 12 惟 汝南 小既可 謹 蓄 喧 膱 目之 ナ. 獲尚干 悲 放 然

火 見是 菅 請留漕 今中

茈 Á 一徵者十二 心整 施 河工運道 予遺 F 必何以堪 民 處 關 春夏而前不許飲解 見免之 談求 或 心原願 而祗苦于徵 稅糧 勑 該

뚀 鈥 八、民族 門開 人息金 銀 計 給 矛 金量 艦 þ 創

药 危 而往還 台事事主 7 八盖 勘 計 刻期 體 軟動旬 有統率 恶少潜懷 固 恐恐 道 飛驗 小靴 州 郡

人人 10.16 為前歲里在 往年師劉 **能能令無知** 金鄉去 公可虞顧餓 可勝言 一豐縣了 一輩倡 一
推
動
天 轉相 禁流 ij

台 矣蝉 為禍 其次 **千里民不职生流離載道** 不流而思本源之論。 叫 金 然思想循有意 **冷河西末** 一撫按多方無字嚴示造流言者 則餓民不失為 ご民徒 九 . 用所獻寥寥五議皆較之事 重德意而飛語浮言不 人轉流古而 、请途在報警東倭 民旗 A THE PERSON AND PROPERTY AND ADDRESS OF THE PERSON AND PARTY. 乎開之醫家去急 馬貝黃譚荒政治 良善而 可 **沙收拾時事** 他順 者 得交 慮哉是當咨 則治 叵測 利匪淺 相浪證以 得無拘 不 上修德 標緩 令漂 **叶原東** 経鮮 泊 打 i

疏砂 八尺度 手工

靈為我 患他 國 奏載 自 NE NE 手中一 御史 ij. F 都 重

训 冬難緩須東 ノジノ 脚室 八則民 -

5 請服請獨 ||| ||||| 上質肆虐 則益 侵漁 墨 豆豆 固 郡

項 5 四 蠲 和 間 巡 沾 F 毠 想

三元

貝 此后 アナス 戸式 . 5 势 ととさ 、鞋至 力月 51 閑

火 前灣 是長 過 **姓耳為** 傷害 三十七 盆之

于彩 1] 刺升 日此其獎 以則刻心 迎 可痛即何 盗 奖 刺爭民之 旧多益ク 遇重災 們則 手に 糸

~ 雄 氣所無些 **腕弱其腹** 車 尘 、見まれ 町 ----: えた文 17: ... P 健 **几**者 洶 元条 K ij

如果 免下 公最果! 一字母 温飽 以脱一 山山 一路之息 可嚴令 註以 一該 긤

nite in the second seco

旣 7 民

火 e 4 つくませ 黃疸 逐 百 佐雁腫之 河既 嵐 0 骨成 面 度

家征商有要地抽稅有專責近來各省直添設稅院批心故日禄新之中」 水錙銖盡算額課始充州縣解諸藩司藩司解稅 佔酒沽下及菜傭草履無不有稅間架過唐青苗 州縣量派各數百金有差自市井場鎮絲布米塩 日採辦之苦此一也 剥 民脂膏又以 朝廷此定 川縣解 成民壽命遐邇痛哭 三萬兩 務 國

妙 禍悉凌城 か 監 惟 <u>ب</u>ن نست な意 誰何出 加以嚴 没鼠 游口玉 月 一呼泉齊登逐 刑暑不 貝」 能 心 少離開 必 i

必無魚 稅人 、蜀來 寫利 蘇記 懼 其母錢咸疾首 易關市 **水來而澤魚必竭** 叙所嘉定 芝 苦播 盈盈咫 商旅語 抽 謀 故 日竭 更 派等處無 罪惡泊天 口權稅之 澤而漁後 塹屍填 商 湖 行 破 聲 .

齊驅 凢 頭 永 兵馬經過 無存 于驚惶力 2報金 田地荒蕪而耕種 とし上げて 民逃 一歸騎馬賴至 站而就銀 ^ 鼠殲殄 垂死之餘聚散歷 數 7 兩者有 歸農里 無烟 青苗耹

ij 4 間官價錐 的運餉 衣甲線 7 兩 j 具 站 少至 募民非銀 運 毎 兩 石貼 ビナニ 軍器 更甚 需

其其 工之民館、一民已難于 則馬力 渔土 可旦暮平之民館不至 コーニーローニー 偶值其 脱 一番选 心

殿逐則外呼內應決 壘 慣崩山流水湧松潘地維頻震合江天 可寒心 人境殺人 監煽動 裂難收近 山顏生 司馬應龍聲言內化 為名 無巴 解能無動念 國家之患不 而我魚肉窮民 銀可三 躬必 、鼓雷鳴

倉及常平 除 , 髓竭皮空銀將安出而倉穀之發 近 軍卿 項重料率 一元司 加往年五倍令又毎 處告匱矣其在 在告空矣 無碍羡 10 通 石加銀 間

盗賊之 Ī 願 臣提手頓足莫可為策則進銀 則 囘京師 門 給發用銀 念川 周勸借用民 **小**遣 引領 野沿江 恩單 之 視遠 稅 貽 將 周賑) 國矣伏 報罷 狽

至 四三 间